

# ケアの現象学入門

—誰かをケアするとはどういうことか—

超高齢社会を迎えたわが国では、高齢者が尊厳を保ちつつその人らしい人生を最期まで送れるよう地域全体でサポートする「地域包括ケア」システムの構築と「地域ケア社会」への移行が求められています。他方では、コロナ禍のなか、高齢者や病者を十分にケアすることができない困難な状況も浮かび上がってきています。しかし、そもそも誰かを「ケアする」とはということなのでしょうか。

本講座では、医療や看護の領域で近年注目が高まっている「現象学」という哲学の立場から、「病い」や「老い」の経験について考察しつつ、〈ケアし-ケアされる〉人間の在り方について考えてみたいと思います。

2021年 全6回

オンラインで開講します 

11/1 月 - 12/6 月

視聴期間：  
配信開始(毎週月曜)から1週間



講師 **榊原 哲也**  
東京女子大学教授

- 対 象**：一般（社会人・卒業生・教職員）・学生  
※抽選の場合は区民優先
- 定 員**：150名  
※申し込み多数の場合は抽選となることがあります。
- 受講方法**：オンデマンド（録画配信）形式  
※インターネット接続、PC環境が備わっていることが受講の条件となります。
- 参加費**：一般 1,000円（全6回分、事前振込）  
学生 無料
- 申込み締切**：10月18日（月）
- お申し込み**：以下のURLよりお申込みください。  
<https://www.twcu.ac.jp/univ/about/cooperation/lifelong/>



※各回のテーマと講師プロフィールは裏面をご覧ください。

お問い合わせ：東京女子大学 教育研究支援課

TEL：03-5382-6470 月～金（祝日を除く）9:00～17:00（11:25～12:25を除く） E-mail：support@office.twcu.ac.jp

共催：杉並区教育委員会

## 講座プログラム

	配信期間	各回のテーマ
第1回	11/1(月)～11/7(日)	「疾患」と「病い」—人は病気をどのように経験するのか
第2回	11/8(月)～11/14(日)	フッサールの現象学—人は意味の世界に生きている
第3回	11/15(月)～11/21(日)	ハイデガーの現象学—人間の本质はケアすることにある
第4回	11/22(月)～11/28(日)	メルロ＝ポンティの現象学 —日常生活において私たちの身体はどのような働きをしているのか
第5回	11/29(月)～12/5(日)	ベナーの現象学的人間観—ベナーは現象学から何を学んだのか
第6回	12/6(月)～12/12(日)	ベナーの現象学的ケア理論—人をケアするとはどういうことか

### 講師プロフィール

#### 講師

さかきばら てつや

**榊原 哲也** Tetsuya SAKAKIBARA

東京女子大学

現代教養学部 人文学科

哲学専攻 教授



### 経歴

博士（文学）。東京大学名誉教授。哲学会理事長、日本哲学会理事、日本現象学会委員（編集委員長）、実存思想協会理事（事務局長）などを歴任。

### 現在の研究・関心

専門は現象学および現代哲学。とりわけフッサールを中心に、デールタイ、ハイデガー、メルロ＝ポンティ等によって展開された現象学・解釈学・実存哲学に関する歴史的・体系的研究を行っている。またこれと並行して、看護およびケア一般に関する質的研究法の一つである「現象学的アプローチ」を理論的に基礎づけ展開する試みや、看護学研究者や医療現場と連携して医療ケアという「事象そのもの」から「ケアの現象学」「医療現象学」を新たに立ち上げる試みを行っている。

### 主な著書

The Genesis of Husserl's Phenomenology: A study on the origin and development of its method, University of Tokyo Press, 2021.

『医療ケアを問いなおす—患者をトータルにみることの現象学』2018年 筑摩書房

『ケアの実践とは何か：現象学からの質的研究アプローチ』（共編著）2017年 ナカニシヤ出版

『フッサール現象学の生成——方法の成立と展開——』2009年 東京大学出版会